



明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

# KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail : gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

No. 135

2021

11.17

## 「未来の教室」フォーラム 2021

～教育dXでつくる「未来の教室」のビジョンとイメージ～

教育dXって何？

“未来の学び”がもう始  
まっているんですね。

11月20日(土)に“「未来の教室」フォーラム～教育dXでつくる「未来の教室」のビジョンとイメージ～”が開催されます。最近DX(デジタルトランスフォーメーション)という言葉をよく耳にします。「未来の教室」ではあえて“教育dX”とDを小文字のdと表記しているのにも意味がある

ようです。そんな“教育dX”について目を向けてみられるのはいかがでしょうか？未来を生きる子どもたちのために。



○日 時 2021年11月20日(土) 15:00～17:40

○会 場 オンライン (YouTube Live) 無料

<https://youtu.be/S1hLnEM4UYM>

○主 催 経済産業省

○共 催 ポストンコンサルティンググループ

一般社団法人 教育イノベーション協議会

教育の世界でも重要性が増す「DX」(デジタルトランスフォーメーション)。経済産業省「未来の教室」では、学びの生まれ変わり(トランスフォーメーション)が目的であり、デジタルは手段として活用するものであるという意味を込め、「教育dX」と呼んでいます。教育dXによって目指す最上位目標は「学びとシゴトと福祉」の往還。その最上位目標の実現に向け、デジタルの力を借りて、「あらゆる手段を組み合わせ自在にすること」を目指し、「未来の教室」実証事業等に取り組んでいます。

今回、「未来の教室」フォーラム 2021.11では、教育dXでどのように子どもたちの学びや先生方の働き方が変わるか?をテーマに、「未来の教室」のビジョンをご共有し、また2021年度の「未来の教室」実証事業を土台に具体的なイメージを描きつつ、教育dXのビジョンとイメージをさらに掘り下げて議論します。(参照:「未来の教室」HPより)

### ○プログラム

#### セッション①

経済産業省「未来の教室」が目指す「教育dX」のビジョン

#### セッション②

(a) 時間・空間を越境した「学び」の生まれ変わり

・事例1: 旅する学校:(一財)地域・魅力化プラットフォーム

岩本 悠: 一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム代表理事

内閣府 CSTI 教育・人材育成 WG・中央教育審議会・産業構造審議会 委員

- ・事例2：ミネルバ大学教授法：株式会社リクルート

福田竹志：株式会社リクルート Hitolab (ヒトラボ)

- ・事例3：未来の地球学校：(株) steAm

中島さち子：(株)steAm 代表取締役 / 2025 大阪関西万博テーマ事業プロデューサー

内閣府 CSTI 教育・人材育成 WG・中央教育審議会・産業構造審議会 委員

## (b) 教育dXを実現する「教員」「学校」の生まれ変わり

- ・事例1：教員のチーム化による働き方改革

サイボウズ(株)×中郷西中・谷山中

なかむらアサミ：サイボウズ株式会社 チームワーク総研 シニアコンサルタント

- ・事例2：チーム学校による個別最適化された生徒支援

学研プラス・SPACE×城東中

佐久裕昭：株式会社学研プラス 次世代教育創造事業部/デジタル事業本部・リーダー

- ・事例3：探究・STEMを核とした学校づくり

Z会×専大北上高校

福本理恵：(株)SPACE CEO / 東京大学先端科学技術研究センター協力研究員

## セッション③ 総括：教育dXの実現に向けた展望

森田 朗：一般社団法人次世代基盤政策研究所 代表理事 / 東京大学 名誉教授

佐藤昌宏：デジタルハリウッド大学 教授・学長補佐

末富 芳：日本大学文理学部 教授

工藤勇一：堀井学園 横浜創英中高等学校 校長 (前千代田区立麹町中学校校長)

浅野大介：経済産業省サービス政策課 課長、教育産業室・スポーツ産業室 室長

デジタル庁 統括官付参事官

### 違う景色が見えるかも

教育に関するフォーラムなのに、登壇者を見ると企業やコンサルタント的な動きをされている方が多いのにびっくりです。

“時間・空間を越境した「学び」の生まれ変わり”・“教育dXを実現する「教員」「学校」の生まれ変わり”とセッションのテーマにあります。なぜこの人たちがと考へながら視聴するとまた違う景色が見えてくるのではと思います。それが未来の学びをデザインする参考になるのではと考えています。

### 算数嫌い克服、平均点も上げた脱一斉授業の全貌

#### 誰一人取り残さない「学びの個別化・協同化」

<https://toyokeizai.net/articles/-/466281>

### こんな挑戦が！

#### 新学習

指導要領がスタートし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。そんな中、算数の時間において一斉授業をやめ、新たな学びのスタイルに挑戦した教員がいる。その結果、算数を好きになる子が増え、テストの平均点も向上したという。いったい、どのようなアップデートを行ったのか。

(参照：東洋経済 education×ICT 2021/11/15)

こんな挑戦が始まっているんですね。「学びの個別化・共同化」を考える参考になるのではと思います。教育dXと絡ませながら対話が始まったらと思っています。(文責：北本)